

# 令和元年度 徳島県バレーボール小学生新人大会 開催要項

1. 主 催 徳島県バレーボール協会・徳島県小学生バレーボール連盟

2. 後 援 徳島県・公益財団法人徳島県体育協会・徳島県小学校体育連盟・読売新聞社

3. 期 日 令和2年3月28日（土），29日（日），30日（月）

4. 会 場

会 場	3月28日	3月29日	3月30日
小松島市立体育館	開会式 9：30	競技開始 9：30	競技開始 9：30

28日（土）は開会式終了後、競技を開始する。30日（月）は競技終了後、閉会式を行う。

5. 参 加 資 格 令和元年度徳島県小学生バレーボール連盟に有効に登録されたチーム。（男子・女子・混合）

6. チーム編成 ①監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする。

監督、コーチ、マネージャーのうち1名以上は成人であること。

②ベンチスタッフは、JV A-MRSに登録されている者に限る。

7. 競 技 規 則 2019年度(公財)日本バレーボール協会が定める6人制競技規則による。  
ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

8. 競 技 方 法 3セットマッチのトーナメント戦とする。3位決定戦は行わない。

9. 会 場 設 営 出場するチームに会場設営協力を割り当てる。各チームは、参加申込書に  
協 力 者 必ず「会場設営協力者」氏名を1名以上記入し提出すること。

※「会場設営協力者」氏名の記入がないチームの参加申込書は受け付けない。

ただし、会場設営協力者は、抽選において各コート第1・第2試合目を引いた  
チームの会場設営協力者とする。

10. 審 判 員 公益財団法人日本バレーボール協会公認審判員及び帯同審判員。

11. 使 用 球 ミカサカラーボール（MVA500）軽量4号球とする。

12. 表 彰 1位に優勝杯、2位に準優勝杯、3位に楯、ならびに賞状を授与する。

13. 参 加 料 1チーム4000円。（1登録団で複数チームの参加も可）  
郵便振替で納入りし、納入のコピーを参加申し込みと同時に送付すること。  
※参加料が納入されていない場合は受け付けない。

14. 申 込 方 法 ①所定の申込書  
②参加料納入のコピー  
③JV A-MRSチーム加入選手一覧（PDF出力）  
以上を、3月12日（木）必着で各ブロック総務担当に申し込むこと。  
(事務局へ直送しても受け付けない)  
※令和元年度のJV A-MRSの登録は、終了しています。

15. 受講証提示 大会に参加するチームの監督、コーチ、マネージャーのうち1名以上は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ、公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員のいずれかの資格、または公益財団法人日本バレーボール協会・日本小学生バレーボール連盟が共催する全国小学生バレーボール指導者二次講習会以上の資格を有し、試合時には証明書等を胸に下げていなければならない。
16. 代表者会議 令和2年3月21日（土）評議員会終了後に行います。  
及び抽選会  
（下記のとおり、評議員会は10時00分から開催します）  
八万中央コミュニティセンター（徳島市八万町内浜80-14）※予定
- ※代表者会議（抽選）に先立って10時00分から令和2年度の評議員会を行います。各団から代表者は必ず1名ご出席のうえ、ご審議くださいますようお願いいたします。
17. その他
- (1) 選手は、スポーツ傷害保険に加入しておくこと。
  - (2) 試合中における選手の負傷について、主催者側は救急の手配をするが、それ以後の責任は負わない。
  - (3) ユニフォームには、規定の番号及びキャプテンマークをつけること。
  - (4) 監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン・Tシャツは不可とし、チームで統一された同一メーカー同一規格のものを着用し、かつ上衣はえり付きシャツであること。また、監督、コーチ、マネージャー章をチーム側で用意し、必ず左胸部に着用すること。
  - (5) 各コート最終試合チームを中心に、清掃等に協力すること。
  - (6) 各チームでゴミ袋を持参し、ゴミは持ち帰ること。

---

#### 《みんなでマナーの向上に努めましょう》

- 1 駐車場の利用は、白線内の所定の場所へ駐車してください。  
※あとから応援に来てくれる保護者・チーム関係者にも徹底しましょう。
- 2 上履きと下履きの区別を明確にするとともに、玄関（入口）付近に下足を置かないようにしましょう。  
また、選手をはじめ子どもたちがトイレでの履き替えが徹底できるよう指導をお願いします。
- 3 ロビーや通路・階段での準備運動、ボールを使った練習等、周りへの迷惑になる行為はやめましょう。
- 4 勝負への過度のこだわりは、健全育成の精神に反するということを徹底しましょう。